



「2025年3月ダイヤ改正について」団体交渉実施！～その②～

【基本関係】

④乗務行路内の「その他時間」で行う駅業務等について、乗務員から券売機案内に関して、不安な意見が出ていることから、必要な実地訓練を行うこと。

確認事項 券売機操作について、個人の状況を踏まえて不安解消に努める。

組合：組合員・社員は指定席券売機の操作について把握できていない。自信を持たせるために実機を用いた訓練を行うこと。

会社：2023年3月ダイヤ改正で駅業務等を導入する際、各職場でマニュアルを作成し、準備を行った。OJTで教育してきたことが実態に沿ったものを学べていると考える。引き続きOJTで学ぶことが良いと考える。

組合：駅業務等は月1又は2回の限られた時間である。券売機操作の不安解消に努めていくこと。

会社：個人の状況に踏まえ、サポートしていく考えである。

⑤運転士と車掌の相互運用や各統括センターにおける複数担務を新たに担う場合、必要な教育・訓練を行うこと。また、本人が不安に感じる場合は見習い期間の延長や追加の訓練等を行うこと。

組合：各統括センターの運転士・車掌・駅の担える現在員数を示すこと。

会社：担務を担える社員を確保しながら箇所総体で業務に必要な要員は確保している。業務の融合と連携が進み、月によって担務が異なったり、管理者の乗務や一般社員が管理の業務も行う等を実施している。一概に数字は示せない。

組合：業務の融合と連携がどこまで進み、今後の展望も議論したい。前向きに議論するため、それぞれの担務を担える現在員数を示すこと。

会社：職名も運転士等ではなく、係職など統一された。繰り返しの回答となるが管理・一般でしか示すことは出来ない。必要な要員は確保している認識である。

組合：運転士と車掌の相互運用について、要員補充として行わないこと。

会社：相互運用は複数担務で社員の成長を促す考えで実施している。複数担務を担える社員を育成するため、必要な教育・訓練は行う考えである。

組合：昨年7月より土浦統括センター運転士が土浦駅の輸送ダイヤの見習いを行っている。現在の状況と今後1本に向けたスケジュールを示すこと。

会社：土浦駅の作業ダイヤ土Bの見習いに従事している。1本立ちは今年の4月又は5月頃を検討している。

⑥増収と運賃ほ脱対策のため、各統括センター総体で、特別改札や無人駅における精算業務を行うこと。

確認事項 不定期の特別改札を実施する。

組合：今年度の各統括センターで実施した特別改札について明らかにすること。

会社：イベント対応で有人駅や近隣の無人駅での特別改札等、多く実施してきた。

組合：無賃乗車や乗車証明書を大量に取得し渡している事象が散見される。会社の認識を示すこと。

会社：お客さまは正当に支払っている考えである。啓蒙活動を実施し、不正乗車は警察と連携して対応する。お客さまサービス向上でイベント等があれば実態を見ながら実施する考えである。

組合：増収や運賃ほ脱対策で、特別改札や無人駅での精算業務を行うこと。

会社：今後も啓蒙活動の一環で今後も特別改札を行う考えである。